

千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第33週 (8/14-8/20) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	33週	32週	31週	30週	
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	18	16	18	17	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
	眼科	5	3	5	5	
	*インフル/COVID	28	22	28	27	
	基幹	1	1	1	1	

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			8/14-8/20	8/7-8/13	7/31-8/6	7/24-7/30	8/7-8/13
			33週	32週	31週	30週	32週
小児科	RSウイルス感染症		8	7	7	17	58
	咽頭結膜熱		1	1	4	4	49
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	13	8	15	110
	感染性胃腸炎	↓↓	89	107	125	120	323
	水痘		2	0	1	4	8
	手足口病		11	4	8	19	59
	伝染性紅斑		0	0	0	1	2
	突発性発しん		3	6	5	10	20
	ヘルパンギーナ	↓↓	9	42	52	102	180
	流行性耳下腺炎		1	1	0	2	7
*インフル/COVID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓↓	19	27	44	42	169
	新型コロナウイルス感染症	◎	324	195	343	334	3050
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		2	1	1	0	11
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

2 全数報告対象疾患: 7 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	20歳代	IGRA検査	腸管出血性大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認
	女性	20歳代			女性	70歳代	
	男性	90歳代	病原体等の検出		男性	70歳代	
侵襲性肺炎球菌感染症	女性	70歳代	病原体の分離・同定	-	-	-	-

・第33週は、結核3例(69)、腸管出血性大腸菌感染症3例(18)、侵襲性肺炎球菌感染症1例(7)の発生届があった。

※ ()内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第33週のコメント

<感染性胃腸炎>

前週より減少し4.94となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は1歳で最多。区別では、緑区(11.50)が最多で、同区の1歳の報告が最も多かった。

<ヘルパンギーナ>

前週より減少し0.50となり、流行発生警報終息基準値(2.00)を下回った。

<インフルエンザ>

前週より減少し0.68となり、流行開始の目安とされる1.00を下回った。

<新型コロナウイルス感染症>

前週より増加し11.57となった。区別では、中央区(28.60)からの報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf